



広瀬地区 地域計画 課題と将来の方向性 ダイジェスト版

【広瀬地区の農用地等面積】 663.3 ha

うち 【田】 537.0 ha 【畑】 123.4 ha

(農業振興地域のうち農用地区域内の農地面積 594.1 ha)

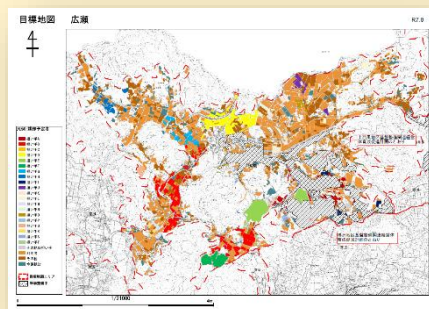
- ・ 今後農業を担う者が引き受ける意向のある農地面積 合計 56.4ha
- ・ 広瀬地区における 75 才以上の農業者の農地面積 合計 126.1 ha
- ・ 主な生産品目：水稲、永年性牧草、大豆、WCS 用稲、飼料用米、りんご、ねぎ、キュウリ、ピーマン、肉用牛（繁殖・肥育）など

(令和7年8月 26 日現在)

地域農業の課題

- 1. 担い手・後継者不足
 - 営農組合の構成員の高齢化
 - 後継者確保の困難
- 2. 離農・規模縮小の拡大
 - 個人担い手も飽和状態
- 3. 労働力・人材不足
 - 高収益作物への取り組み難化
- 4. 農業所得の低下
 - 農畜産物価格低迷
 - 生産費の上昇
- 5. 遊休農地の増加懸念
 - 交付金対象外水田の増加(5 年水張り要件)
 - 耕作放棄地の増加
- 6. 営農組織解散による個人経営化
- 7. 鳥獣被害の拡大
 - イノシシやシカによる被害

広瀬地区の目標地図



地域計画は、奥州市内 45 地区で策定をしました。

地域計画は、地域の実情に合わせた取り組みを進めるため、地域の話し合いで出し合った「課題」や「今後の方向性」を取りまとめたものです。また、農地一筆ごとに 10 年後の耕作者を取りまとめた「目標地図」も作成されています。

このダイジェスト版は、地域農業の「課題」や「今後の方向性」を抜粋して作成したものです。

地域の現状は毎年変化していくものですので、年に1回程度、地域の皆さんで「課題はありますか?」、「困り事ありますか?」、「やってみたい農業はありますか?」など、話し合ってみてはいかがでしょうか。

地域農業の方向性

- 1. 農地の集積・集約化推進
 - └農業生産性向上と経営基盤強化
- 2. スマート農業・デジタル技術導入
 - └労働力不足の解消
 - └生産効率・精度向上
- 3. 持続可能な農業の推進
 - └特別栽培・減農薬・循環型農業
 - └環境保全・食料供給安定
- 4. 地域コミュニティ連携強化
 - └自治体・企業・住民との連携
 - └共同作業・農地保全
- 5. 多様な経営体の確保・育成
 - └新規就農者・認定農業者の育成
 - └経営多角化・若手育成・技術継承
- 6. 鳥獣被害防止対策
 - └緩衝帯・電気柵の設置
 - └集落共同対策の構築
- 7. 農地中間管理機構の活用
 - └分散農地の集約・条件整備
- 8. 基盤整備事業の推進
 - └区画拡大・暗渠排水
 - └作業効率化

このダイジェスト版を「地域の話し合いで使いたい」「振興会に配りたい」などのご要望がありましたら、印刷してお渡しすることもできますので、下記までご連絡ください。

また、目標地図や他の地域計画は、奥州市ホームページに掲載しています。

※個人情報に該当する部分は掲載していません

■掲載ページ URL

<https://www.city.oshu.iwate.jp/soshiki/7/1057/2/chiikikeikaku/17284.html>

▶ 市ホームページでの検索方法

奥州市ホームページ→「情報を探す」→「ページ ID を入力」の入力欄→「17284」を入力→検索

▶ スマホやタブレットなどで下記QRコードを読み込む



■問い合わせ…奥州市農政課人農地プラン推進室（TEL 0197-34-2371）

